



平成28年11月14日

各位

上場会社名 ヤーマン株式会社  
 代表者 代表取締役社長 山崎 貴三代  
 (コード番号 6630)  
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 宮崎 昌也  
 (TEL 03-5665-7330)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年8月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成29年4月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年5月1日～平成28年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,896	1,463	1,462	956	167.66
今回修正予想(B)	10,731	2,313	2,319	1,500	263.08
増減額(B-A)	835	849	856	544	
増減率(%)	8.4	58.0	58.5	56.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年4月期第2四半期)	8,363	618	585	344	59.11

平成29年4月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年5月1日～平成29年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,448	1,892	1,881	1,215	213.10
今回修正予想(B)	19,253	2,836	2,832	1,818	318.90
増減額(B-A)	805	944	951	603	
増減率(%)	4.4	49.9	50.6	49.6	
(ご参考)前期実績 (平成28年4月期)	16,310	1,028	1,002	591	101.55

### 修正の理由

平成29年4月期第2四半期(累計)連結業績は、美顔器ブランド「RFボーテ」シリーズが各販路で好調であったことに加え、原価低減の取り組みが奏功したこと、為替の円高傾向が持続したこと、中国向けの売上が想定より前倒しで計上されたことなどにより、売上高・利益ともに前回予想を上回る見込みとなりました。

第3四半期会計期間は例年売上が伸び悩むことや、下半期にブランド認知のための大型の広告投資を計画していることなどもあり、下半期の連結業績は前回発表並みと予想しており、通期連結業績は上記のとおりとなる見込みです。

以上